



発言通告書

(その1 質疑、質問)

発言の種別 (いずれかに○)	質疑 緊急質問 関連質問
発言の要旨	1. 議案第 104 号 令和 7 年度 飯田市一般会計歳入歳出決算認定について (1) 市長は令和 7 年度当初予算について「後期計画 4 年間のスタートにふさわしい、今後に向けた礎を築く予算となるよう意を用いて編成した」と発言された決算の状況からどのように評価するか (2) 令和 7 年度当初予算では余裕のある財政状況とは言えないと認識していた、一方で決算の結果から見れば良好と認識するが、その要因と分析は (3) 財政運営目標における一般会計地方債が今後増加するとの見通しだが、今後抑制するための方策の考え方は (4) 人件費や扶助費は今後増額が予想される、「財源の裏打ちのない予算の組立てをしない」ことから決算から予算の組み立てへ向け留意する点は何か (5) 各事業の予算の執行にあたって、当初見込んだ予算より増額または減額の原因について把握していると考え、来年度予算の組み立てへ向けどのように整理し組み立てるか 2. 議案第 99 号 令和 8 年度 飯田市一般会計補正予算(第 3 号) 案のうち国の交付金を活用した物価高騰対策について (1) 水道料金の基本料金減免に至った背景と市の考え方は (2) 支援内容の水道料金の基本料金減免を 2 カ月分とした根拠は

	(3) 物価高騰などによる市民生活から見れば、市として激変緩和策などの検討や議論はされたのか (4) さまざまなものの価格が高騰する中で生活困窮者へ向けた支援策の検討は
答弁を求める者 市長 他 担当部局	
上記のとおり通告します。 令和 8 年 9 月 4 日 飯田市議会議員 小林真一  飯田市議会議長 竹村圭史 様	
(事務局記入) 令和 8 年 9 月 4 日 9 時 50 分受領	